

1969(昭和44)年11月創刊

2024(令和6)年 4月17日(水) 14346号



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
ヴィレッジリバー南森町3階E号

TEL : 06-6353-7831

FAX : 06-6353-7832

MAIL : metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp

WEB : <https://homenikkankinzoku.co.jp/>購読料 12か月79,200円 外電配信料 12か月92,400円
6か月39,600円 6か月46,200円

銅建値は5万円引き上げの152万円

4月の月内建値平均は147万2,000円

JX金属は16日、電気銅建値を5万円引き上げの152万円にすると発表、同日より実施した。4月の月内建値平均は147万2,000円。

16日に入電した直近のLME銅相場前場売値が9,390.00ドル。16日の東京市場の米ドルTTSレートは155.42円。

この値で換算した採算価格は、145万9,300円。建値と採算価格から見た諸掛りは6万700円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り。(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)

2023年

11月… 1270(1) 1280(7) 1270(10) 1290(16)
1300(27) 平均1283.1

12月… 1300(1) 1270(6) 1250(8) 1230(14) 1250(18)
1280(20) 平均1267.3

2024年

1月… 1250(4) 1240(10) 1260(16) 1270(19)

	1280(24)	1300(29)	平均1265.2
2月…	1300(1)	1280(6)	1260(9)
	1270(15)	1310(19)	1320(22)
			平均1294.2
3月…	1310(1)	1300(11)	1350(14)
	1390(19)	1370(26)	平均1342.1
4月…	1380(1)	1400(3)	1450(5)
	1460(10)	1470(15)	1520(16)
			平均1472.0

黄銅削粉買値は30円
引き上げの1,070円

関西の黄銅棒大手メーカー日本伸銅は16日、黄銅削粉買値を30円引き上げの1,070円と発表した。

今月6回目の改定。4月の月内買値平均は1,032.5円。

GHG排出の仮想価格設定で

投資判断に活用

三菱マテリアル

三菱マテリアル株式会社(小野直樹社長)は2024年4月から、社内の温室効果ガスGHG排出量への意識向上と脱炭素を進めるため、社内独自でGHG排出量に仮想的価格を設定し、投資判断に活用するインテリナルカーボンプライシング(ICP)制度を導入することを公表した。

グループは2030年度までに排出量(事業者自らの直接排出Scope1+供給エネルギー利用間接排出Scope2)の45%削減(2020年度比)、また45年度のカーボンニュートラル実現を目指している。

ICPを導入し、脱炭素に寄与する投資を促進することで排出量削減を推進する。

社内炭素価格は10,000円/t-CO₂(導入時点)。対象は自社排出量(Scope1+2)に削減貢献する設備投資。適用方法は、対象となる設備投資に伴う排出量に

対して社内炭素価格を適用し、仮想的に費用換算することによって投資を判断する。

故銅・銅滓
アルミ原料

高価即金買入

——ご照会をう。——

森下商店

大阪市西成区南津守7-12-46

TEL (06)6659-5577~8

FAX (06)6659-5579

DXスタートアップガイドを策定 経済産業省

経済産業省はこのほど、脱炭素と産業競争力強化・経済成長を同時に実現するGX(グリーントランスフォーメーション)に向けて取り組むスタートアップについて、新たな成長モデルの創出に向けたガイダンスを策定し発表した。GX分野特有の市場リスクを踏まえたLOI(Letter of Intent)などの需要表明手法や、期待収益率を踏まえたスタートアップ・ファイナンスの多様化などについて、国内外の活用事例や実務ポイント、成長ステージなどに応じた「ひな形」等を示している。

2050年カーボンニュートラルの達成に向けては、必要な排出削減の約35%は未だ商用段階にない技術によりもたらされると推定されている。削減に必要な技術イノベーションを促進し、GX分野の成長市場を早期に取り込み、企業のGXを推進するためにはGX関連分野のスタートアップの創出・成長が必要。しかし、その技術や事業確立までの研究開発に大規模な資金を要し、時間軸が長いなどの課題から、その成長には既存スタートアップと異なる戦略が求められる。

GXスタートアップ成長の大きな壁としては量産化前のミドル期が挙げられ、製品ができないと売上見通しが立たず、売上が見込めなければ資金調達ができないという停滞構造を超える必要がある。この構造を解決する手段

世界を結ぶ循環流通サービス
原料から製品まで

Ogico OSGITAKI Corporation

銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

本社 大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号
tel:06-6444-1521~1530

東京支社 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地
tel:03-5282-4800

名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号
tel:052-571-2005

海外 シンガポール・香港・タイ・台湾・
マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム

<http://www.ogico.co.jp>

として、顧客による需要表明(LOI~オフテイク契約)や、スタートアップによる「デット」の活用が挙げられる。「死の谷」を克服する2つの手段について、事例分析を元に具体的なメリットや実務上のポイントを広く周知するためガイダンスを策定した。章としては「GXスタートアップ成長軌跡からの学び」や「需要創出~LOIやオフテイク契約の活用」「ファイナンス多様化~融資の活用~」などがある。

京都工場に物流センター新設

タツタ電線

タツタ電線株式会社(山田宏也社長)はこのほど、京都府福知山市長田野町の京都工場内に機能性フィルム事業の物流センターを新設=写真、2024年4月11日に竣工式を行い公表した。関西方面への物流を同センター経由とすることで、生産拠点間や納入先への積載効率

を高め物流の効率化が可能となる。輸送回数の低減が見込めるためドライバーへの負担も軽減できる。

センターは冷蔵倉庫約200㎡、冷凍倉庫約370㎡。再生可能エネルギーを100%使用し、冷蔵冷凍庫には非常用発電機を備えるなど災害時を想定した対策を施している。無人フォークリフトや牽引型無人搬送ロボットを導入し、入庫・搬送・ピッキングまで一連の作業を自動化している。

同事業では、仙台工場(宮城県黒川郡)、京都工場、タツタテクニカルセンター機能性フィルム工場(京都府木津川市)の3拠点で生産し、各工場から製品を出荷している。

鋳物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造
砲金くず・ラジエーターくず等



角丁原料全般買受け

京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地314
電話 0774-43-6700(代表)



機能性フィルム事業の物流センターを新設

携帯国内出荷2月

前年比 10か月連続マイナス

23暦年比10ポイント減

JEITA

一般社団法人電子情報技術産業協会(小島啓二会長)はこのほど、2024年2月の携帯電話国内出荷実績を発表した。

台数は431千台、前年同月比は51.5%となり、23年5月から10か月連続で前年を割り込んだ。同比は、23暦年平均の62.4%を約10ポイント下回った。

同比は、23年4月に、22年9月以来7か月ぶりにプラスとなったが、23年5月から連続のマイナスとなっている。

日刊金属 既刊収録サイト



https://nikkankinzoku.co.jp/

また、コロナ禍直前の20年2月は842千台。また21年2月は1,118千台、22年2月は879千台、23年2月は837千台だった。24年2月の全体台数のうちスマートフォンは331千台、前年同月比は56.9%。スマートフォン比率は76.9%だった。

2024年2月 携帯電話国内出荷実績(単位:千台、%)

	2024年2月		2023年4月~累計	
	前年同月比		前年度比	
携帯電話	431	51.5	5,978	57.6
うちスマートフォン	331	56.9	4,514	52.9

携帯電話国内出荷実績 月次推移(2022年8月~2024年2月)



携帯電話国内出荷実績月次推移(22年8月~24年2月)

アルミニウム地金

アルミニウム原料

熟練ポット炉技術で歩留まりUP!

井関金属株式会社

代表取締役 柳 一根

〒587-0021 大阪府堺市美原区小平尾 407

☎ 072-361-3333 fax 072-362-7667



神鋼商事株式会社

プロフェッショナル職群

<4月1日付>

金属本部鉄鋼ユニット鋼板部担当部長(大阪駐在)兼大阪薄板グループ長(鉄鋼本部業務企画室担当部長)鈴木博喜

<5月1日付>

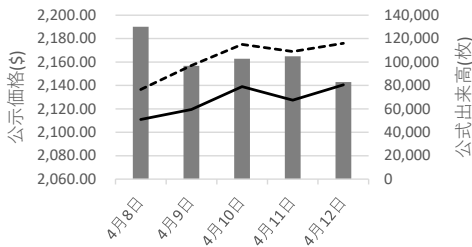
人事部担当部長(鉄鋼本部線材部大阪線材グループ長)横山雅典▷金属本部鉄鋼ユニット線材部大阪線材グループ長(人事部付、SHINSHO AMERICAN CORPORATION出向)伊藤泰徳

nikkankinzoku.co.jp

PW NWJ2448796

LME公式値週間推移 4月8日~4月12日(現地)

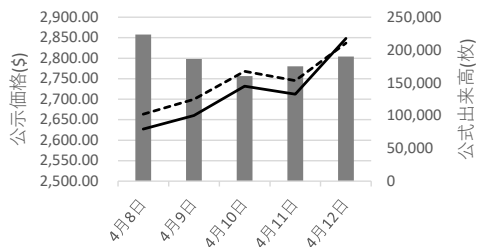
LME鉛



	4月8日	4月9日	4月10日	4月11日	4月12日
出来高	130,156	96,813	102,781	104,934	82,976
直物	2,111.00	2,119.50	2,139.00	2,127.50	2,140.50
先物	2,136.50	2,157.00	2,175.00	2,169.00	2,176.00

出来高 直物 先物

LME亜鉛SHG



	4月8日	4月9日	4月10日	4月11日	4月12日
出来高	223,707	186,473	160,167	174,998	189,929
直物	2,627.00	2,660.00	2,731.50	2,712.00	2,848.00
先物	2,663.50	2,700.00	2,768.00	2,745.50	2,837.00

出来高 直物 先物

故銅市況

16日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値

が前営業日の9,402.00ドルより12.00ドル安の9,390.00ドル。直物の終値は、前営業日の9,333.20ドルより166.27ドル高の9,499.47ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の9,535.00ドルより29.00ドル安の9,506.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の9,457.50ドルより118.50ドル高の9,576.00ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場5月限は、前営業日の425.85セントより12.05セント高の437.90セント。SHFE(上海期貨交易所)の銅相場6月限は、前営業日の7万6,340元より740元高の7万7,080元。

16日の東京為替市場TTSレートは、前日の154.46円より0.96円の円安ドル高、1ドル=155.42円。16日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は9,390.00ドル。この値と16日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の149万円よ

り7,000円高の149万7,000円。この日、電気銅建値は152万円に引き上げられた。

為替動向

15日、ロンドン外国為替市場のユーロ対ドル相場は横ばい圏で推移。16時、前週末と同水準の1ユーロ=1.0620ドル~1.0630ドルだった。堅調な米国の経済指標を受けユーロ売りドル買いが出たが、中東情勢を巡る懸念から米国の長期金利が上昇幅を縮めるとユーロ買いドル売りも入った。

英ポンドは対ドルで小幅ながら上昇。16時、前週末と比べ0.0010ドルのポンド高ドル安、1ポンド=1.2440ドル~1.2450ドルで推移した。

15日のニューヨーク外国為替市場で円相場は反落した。前週末と比べ1.00円の円安ドル高、1ドル=154.20円~154.30円で取引を終えた。この日発表された米国の3月小売売上が前月比0.7%増と市場予想の0.3%増を上回った。2月分も0.9%増に上方修正され2か月連続の高い伸びでFRBが利下げを先送りするとの見方が広がっている。米国の長期金利も一時は4.66%と昨年11月以来の高水準になった。ただ、円が154円台に下落すると日本政府・日銀による為替介入への警戒感が強まり円を買う動きも見られた。緊張が高まる中東情勢を意識した円買いも入り円の下値を支えた。

16日午前の東京外国為替市場で円相場は下げ幅を広げた。10時、前日17時と比べ0.37円の円安ドル高、1ドル=154.27円~154.28円で推移した。FRBの利下げ観測が後退するなか、米国の長期金利は高止まりしており、日米の金利差拡大を意識した円売りドル買いが進んだ。円は対ユーロでは上昇。10時、前日17時と比べ0.22円の円高ユーロ安、1ユーロ=163.80円~163.84円で推移した。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(4月16日更新)

直納問屋筋によるロット物 (5トン前後) の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が1270~1275、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは1235~1240、並銅は1200~1210、込銅 (高品位=約97%) は1190、セバは857~862。コーベルは要り用筋で798、それ以外は783ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋808、それ以外778~788どころの値頃。並青銅鋳物削粉は1050~1055どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が1250~1270、上銅新くずが1215~1235、普通上銅が1190~1210、2号銅線が1182~1202、並銅が1180~1200、込銅(94-97%)が1128、込銅(90-93%)が1130、下銅が713~763、セバが822~857、コーベルが738~783、黄銅棒地が733~778、黄銅削粉が728~773、黄銅ラジが693~701、交叉ラジが704~761、黄銅銅鋳物が659~666、送りが436~455、上青銅鋳物が1047~1067、並青銅鋳物が1027~1042、上青銅鋳物削粉が1042~1062、並青銅鋳物削粉が1017~1037どころ。



(株)日刊金属のサイト

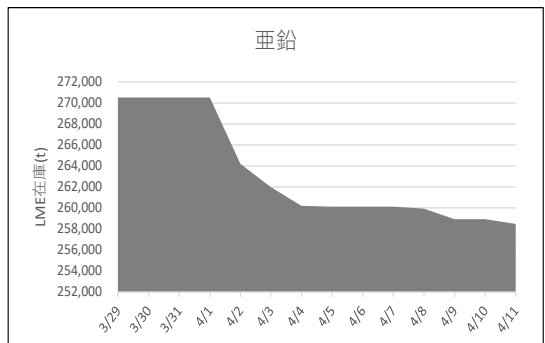
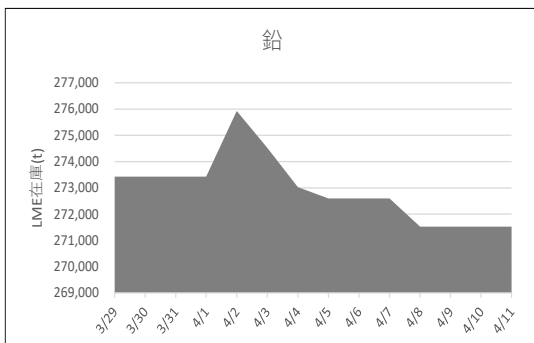
<https://home.nikkankinzoku.co.jp>

日刊金属既刊号公開サイト
<https://nikkankinzoku.co.jp>



日刊金属 LINE 公式アカウント
<https://lin.ee/H3K9j5C>

LME認定倉庫在庫量推移 3月29日~4月11日(現地)





LME銅相場は反落 直物終値は9,499.47ドルに急伸
COMEX銅相場は続伸 SHFE銅相場も続伸
LME非鉄相場は前場軟調も午後やや復調 アルミは急騰、対ロシア制裁の影響を懸念
直物終値は亜鉛2,754.62ドル、アルミ2,568.15ドル



16日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、4月13日入電の9,402.00ドルより12.00ドル安の9,390.00ドル。反落して0.13%安。この週0.13%の下落。4月に入って7.57%の上伸。3か月物の前場売値は、4月13日入電の9,535.00ドルより29.00ドル安の9,506.00ドル。反落して0.30%安。この週0.30%の下落。4月に入って7.59%の上伸。

LME公認倉庫の現地4月12日銅在庫は、前日の12万4,425トンより950トン減の12万3,475トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、4月限が、4月13日入電の425.75セントより12.15セント高の437.90セント。2営業日の続伸で2.99%高。この週2.85%の上伸。4月に入って9.38%の上伸。5月限は、4月13日入電の425.85セントより12.05セント高の437.90セント。2営業日の続伸で2.96%高。この週2.83%の上伸。4月に入って9.28%の上伸。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場の4月限は、4月13日入電の7万6,010元より280元高の7万6,290元。2営業日の続伸で0.53%高。この週0.37%の上伸。4月に入って5.66%の上伸。5月限は、4月13日入電の7万6,170元より640元高の7万6,810元。2営業日の続伸で0.97%高。この週0.84%の上伸。4月に入って6.19%の上伸。

錫も反落

LME錫相場の前場売値は、直物が、4月13日入電の3万2,975.00ドルより25.00ドル安の3万2,950.00ドル。反落して0.08%安。この週0.08%の下落。4月に入って19.17%の上伸。3か月物の前場売値は、4月13日入電の3万2,800.00ドルより50.00ドル安の3万2,750.00ドル。反落して0.15%安。この週0.15%の下落。4月に入って18.66%の上伸。

LME公認倉庫の現地4月12日錫在庫は、前日より横ばいの4,115トン。

鉛はまちまち

LME鉛相場の前場売値は、直物が、4月13日入電の2,140.50ドルより1.50ドル高の2,142.00ドル。2営業日の続伸で0.68%高。この週0.07%の上伸。4月に入って9.01%の上伸。3か月物の前場売値は、4月13日入電の2,176.00ドルより6.00ドル安の2,170.00ドル。反落して0.28%安。この週0.28%の下落。4月に入って8.20%の上伸。

LME公認倉庫の現地4月12日鉛在庫は、前日より横ばいの27万1,525トン。

亜鉛は反落

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、4月13日入電の2,848.00ドルより76.00ドル安の2,772.00ドル。反落して2.67%安。この週2.67%の下落。4月に入って15.93%の上伸。3か月物の前場売値は、4月13日入電の2,837.00ドルより52.00ドル安の2,785.00ドル。反落して1.83%安。この週1.83%の下落。4月に入って14.42%の上伸。

LME公認倉庫の現地4月12日亜鉛在庫は、前日より横ばいの25万8,475トン。

アルミは続伸 アルミ合金は横ばい 北米特殊も横ばい

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、4月13日入電の2,443.00ドルより77.50ドル高の2,520.50ドル。2営業日の続伸で4.56%高。この週3.17%の上伸。4月に入って11.04%の上伸。3か月物の前場売値は、4月13日入電の2,496.00ドルより52.00ドル高の2,548.00ドル。2営業日の続伸で3.58%高。この週2.08%の上伸。4月に入って10.26%の上伸。

LME公認倉庫の現地4月12日アルミ在庫は、前日の52万3,100トンより1,500トン減の52万1,600トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、4月13日入電より横ばいの1,820.00ドル。この週横ばい。4月に入って横ばい。3か月物の前場売値も、4月13日入電より横ばいの1,820.00ドル。この週横ばい。4月に入って横ばい。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、4月13日入電より横ばいの2,520.00ドル。この週横ばい。4月に入って5.00%の上伸。3か月物の前場売値も、4月13日入電より横ばいの2,520.00ドル。この週横ばい。4月に入って5.00%の上伸。

ニッケルは続伸

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、4月13日入電の1万7,780.00ドルより75.00ドル高の1万7,855.00ドル。2営業日の続伸で0.79%高。この週0.42%の上伸。4月に入って8.02%の上伸。3か月物の前場売値は、4月13日入電の1万8,020.00ドルより80.00ドル高の1万8,100.00ドル。2営業日の続伸で1.06%高。この週0.44%の上伸。4月に入って8.12%の上伸。

LME公認倉庫の現地4月12日ニッケル在庫は、前日の7万5,516トンより18トン増の7万5,534トン。

LME公示価格(US\$)／4月15日

	銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル	
直物	公示価格	9,390.00	32,950.00	2,142.00	2,772.00	2,520.50	1,820.00	2,520.00	17,855.00
	前営業日比	▲ 12.00	▲ 25.00	1.50	▲ 76.00	77.50	0.00	0.00	75.00
先物	公示価格	9,506.00	32,750.00	2,170.00	2,785.00	2,548.00	1,820.00	2,520.00	18,100.00
	前営業日比	▲ 29.00	▲ 50.00	▲ 6.00	▲ 52.00	52.00	0.00	0.00	80.00

海外非鉄金属相場

(4月16日 入電・現地 4月15日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場買値, 前場売値, 終値, 出来高. Rows for 銅AG (現物, 前日比, 先物, 前日比).

Table for 錫HG (現物, 前日比, 先物, 前日比).

Table for 鉛 (現物, 前日比, 先物, 前日比).

Table for 亜鉛SHG (現物, 前日比, 先物, 前日比).

Table for アルミHG (現物, 前日比, 先物, 前日比).

Table for アルミ合金 (現物, 前日比, 先物, 前日比).

Table for 北米特殊アルミ合金 (現物, 前日比, 先物, 前日比).

Table for ニッケル (現物, 前日比, 先物, 前日比).

Table for NYCOMEX相場 (出来高, 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム).

Table for 採算価格 (LME, COMEX, 上海) with columns for metal types and prices.

Table for フリー・マーケット (米国内生産者価格) showing silver prices.

Table for NY相場 (取引業者銅, 2号銅線) showing copper prices.

Table for ロンドン相場 (ドル) showing various metal prices in London.

Table for KLTMTM錫 (MYR/KG, 出来高トン) showing tin prices.

Table for LME在庫 (トン) showing metal inventory levels.

Table for 上海在庫 (トン) showing metal inventory in Shanghai.

Table for LMEプレマーケット (ドル) showing pre-market metal prices.

Table for 上海相場 (トン当たり元, 1ロット=5トン) showing Shanghai market prices.

Table for 為替相場 (LME, COMEX, 上海) showing exchange rates for metals.

非鉄金属製品相場

(4月16日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)		
銅小板2.0ミリ	◎ 1870	◎ 1845	亜鉛板0.3×3×7	650	650	VVVF		
建築用0.3ミリ	◎ 1920	◎ 1895	印刷用亜鉛板トッパン用	750	750	2C×1.6	64~66	
銅大板2×1×2	◎ 2000	◎ 2045	給水管13ミリ	280	280	2C×2.0	113~115	
銅管(ベース)	◎ 1930	◎ 2045	鉛板1.5ミリ	600	600	3C×1.6	118~120	
水道用管(m当たり)13ミリ	◎ 1840	◎ 1955	鉛線3ミリ	440	440	3C×2.0	166~169	
銅棒25ミリ	◎ 1780	◎ 1815	軽圧品		大阪	東京	IV	
銅糸1.5×100	◎ 1835	◎ 1860	アルミ箔0.007ミリ	1160	1175	1.6mm	34.4~36.6	
銅線0.9ミリ	◎ 1860	◎ 1875	〃 小板1ミリ	795	805	5.5sq	94.6~101	
銅帯6×50	◎ 1740	◎ 1815	〃 大板1ミリ	775	795	14sq	236~250	
銅平角線	◎ 2060	◎ 2045	〃 5052板	835	845	CV-T		
黄銅小板2.0ミリ	◎ 1505	◎ 1475	〃 6061板	1360	1375	600V 3C×38	1801~1915	
〃 0.3ミリ	◎ 1535	◎ 1505	〃 2017板	1290	1405	600V 3C×60	2782~2957	
黄銅大板2×1×2	◎ 1655	◎ 1655	〃 線3ミリ	775	790	600V 3C×100	4667~4961	
黄銅管	◎ 1985	◎ 2045	〃 快削棒50ミリ	995	1010	6kV 3C×38	2913~3085	
復水器用黄銅管	◎ 1955	◎ 2015	〃 合金棒50ミリ(17S)	980	990	6kV 3C×60	4090~4332	
黄銅棒快削25ミリ	◎ 1245	◎ 1250	〃 合金棒50ミリ(56S)	935	950	CVV (関西-関東)		
六角棒	◎ 1275	◎ 1280	貴金属(一般小口向け)			3C×2	137~140	
四角棒	◎ 1305	◎ 1310	白金(グラム)		◎ 5368	4C×2	184~189	
鍛造用	◎ 1285	◎ 1290	パラジウム(グラム)		◎ 5835	6C×2	262~268	
ネーバル	◎ 1385	◎ 1390	金(グラム)		◎ 13063	7C×2	300~307	
高力	◎ 1385	◎ 1390	銀(キログラム)		◎ 160270	合金鉄 2月輸入単価 (CIF)		
黄銅線6ミリ	◎ 1690	◎ 1655	レアメタル輸入価格 2月通関 (CIF)			フェロマンガン2%以上炭素含有	127	
黄銅平角線ロール仕上	◎ 1890	◎ 1865	金属ケイ素(99.99%未満)		370	〃 その他	183.8	
黄銅糸1.5×100	◎ 1500	◎ 1490	モリブデン酸化物		4683	フェロシリコン55%以上	248	
リン青銅板一般用1.0ミリ	3140	3330	タンタル		79503	フェロクロム4%以上炭素含有	252	
〃 パネ用0.3ミリ	3380	3580	マグネシウム		442	フェロモリブデン純分60%以上	4166	
リン青銅棒25ミリ	3220	3430	コバルト		5313	フェロバナジウム	2949	
リン青銅線3ミリ	3620	3830	インジウム		31474	フェロニッケル33%未満	523	
洋白板一般用1.0ミリ	3870	4020	銅合金地金 4月1日発表			電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326	
〃 パネ用1.0ミリ	4010	4180						

減摩合金	4月16日改定
(500kg以上、大口価格)	
1種	5715
2種	5550
3種	5375
4種	4765
5種	4485
7種	1670
8種	1460
9種	1270

銅合金地金	4月1日発表
(標準価格) 大阪	
BC 1種	1350
2種	1685
3種	1770
6種	1480
7種	1580
YBSC 3種	1180
LBC 3種	1690
PBC 2種	1795



<https://home.nikkankinzoku.co.jp/>

非鉄金属材料相場

山元建値 電気銅 1520(16) 金 11,850(16)
 () 実施日 電気鉛 387(12) 銀 145,650(16)
 電気亜鉛 493(12) 錫(99.99%) 6,450(15)
 キロ当たり円 ◎上げ ◆下げ (4月16日調べ) インジウム大口~小口(99.99%) 41,000 ~ 47,000(1)

非鉄原料 (炉前材)	大阪 東京		地 金	大阪 東京			
	仲間相場			仲間相場			
1トン以上外税持込			高値	安値	高値	安値	
1 号 銅 線	◎ 1336	◎ 1333	電 気 銅	◎ 1471	◎ 1466	◎ 1473	◎ 1468
2 号 銅 線	◎ 1294	—	電 気 亜 鉛	465	459	465	459
上 銅 (新 切)	◎ 1307	◎ 1298	蒸 留 亜 鉛	453	447	453	447
雑 ナ ゲ ッ ト	◎ 1154	◎ 1159	再生ダイカスト亜鉛2種	389	383	389	383
並 銅	◎ 1249	◎ 1230	再 生 亜 鉛 (98%)	344	338	344	338
下 銅	◎ 1230	◎ 1202	電 気 鉛	362	359	362	359
銅 削 粉	◎ 1210	◎ 1202	再 生 鉛 1 号	346	336	342	337
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	350	346	347	343
新 切 黄 銅 セ バ	◎ 1000	◎ 1011	錫 1 号	5300	5250	5300	5250
コ ー ベ ル	◎ 964	◎ 967	ア ン チ モ ン	2100	2050	2100	2050
黄 銅 棒 地	◎ 942	◎ 955	ニ ッ ケ ル (メ ッ キ 用)	2900	2850	2900	2850
黄 銅 削 粉	◎ 936	◎ 950	コ バ ル ト	5400	5100	5400	5100
並 黄 銅	◎ 905	◎ 870	セ レ ニ ウ ム	4100	3900	4100	3900
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	◎ 800	◎ 784	ビ ス マ ス	1600	1500	1600	1500
交 叉 ラ ジ エ タ ー	◎ 853	◎ 821	カ ド ミ ウ ム	800	750	800	750
黄 銅 鋳 物	◎ 910	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	470	450	470	450
山 送 り (55%)	◎ 515	—	アルミ地金99.70%	◎ 442	◎ 438	◎ 444	◎ 440
上 青 銅 鋳 物	◎ 1078	—	アルミ二次地金99%	345	340	345	340
並 青 銅 鋳 物	◎ 1076	◎ 1064	〃 90%	313	308	313	308
上 青 銅 鋳 物 削 粉	◎ 1071	—	アルミ二次合金ADC12	436	431	439	434
並 青 銅 鋳 物 削 粉	◎ 1061	◎ 1048	鋳 物 用 C2BS	461	456	463	458
新 切 リ ン 青 銅 (伸 銅)	—	◎ 1336	青 銅 合 金 地 金 3 種	◎ 1775	◎ 1765	◎ 1865	◎ 1855
〃 (鋳 物)	◎ 1192	—	〃 6種	◎ 1495	◎ 1485	◎ 1555	◎ 1545
リ ン 青 銅 削 粉	◎ 1110	◎ 1102	ハ ン ダ 錫 60 %	3835	3795	3855	3825
新 切 洋 白 (電 子 材)	◎ 1122	◎ 1109	〃 50 %	3315	3265	3335	3305
新 切 亜 鉛	270	270	〃 40 %	2860	2800	2815	2785
ダ イ カ ス ト く ず	187	187	減 摩 合 金 2 種	5455	5425	5460	5430
亜 鉛 ド ロ ス	167	177	〃 4 種	4670	4645	4675	4645
上 鉛	205	203	〃 7 種	1575	1525	1575	1525
電 池 素 鉛 ケ ー ス 込	70	70	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切	70	75	
活 字 鉛	184	181		〃 ダライ粉	55	60	
新 切 ア ル ミ 1 級	262	268		高耐食ステンレスSUS316	◎ 240	◎ 240	
新 切 サ ッ シ 1 級	267	266		耐熱ステンレスSUS310	◎ 330	◎ 330	
新 切 合 金 1 級	256	251		13クローム 新切	32	33	
機 械 鋳 物 1 級	216	229		ハイス 9種	180	180	
ピ ス 付 サ ッ シ P	232	230					
合 金 削 粉 P	178	174					
込 ガ ラ P	141	145					
カ ン ・ バ ラ	181	171					

